

組織・グループ名	南足柄市社会福祉協議会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 〔 当事者活動支援 ・ 福祉の学び推進 ・ 地域福祉ニーズ(課題)対応 ・ 地域福祉コミュニティ構築 〕 ● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕
助成事業名	南足柄で育つ好奇心～みんなの居場所「寺子屋」事業～

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

寺子屋のテーマは、「ふだんのくらしがもっとしあわせになる体験」。夏休みは、10のプログラムを開催しました。市内の福祉施設で行うパン作り体験やカーレット体験では、障がいを持った方たちが先生。やさしく教えてもらったり、一緒にゲームをしたりしました。また、市内の文化施設で、子ども向けアニメ映画が上映された際には、チケットもぎりや場内アナウンスなどの職場体験をさせてもらいました。超満員の会場で子どもたちの活躍が目立ち、会館の職員からたくさんほめてもらいました。



延べ参加者数は児童 129 名、保護者・ボランティア 29 名、講師 57 名（10 団体）。これまで社協を知らなかったという、たくさん子どもや保護者と出会うことができました。寺子屋は、対象者を限定しないことも特色にしています。同じプログラムのなかに、1年生と6年生、障がいをもっている子がいることもよくありました。大人の心配をよそに、子どもたちはすぐに仲良くなってしまうことには驚かされました。



冬休みの寺子屋は、料理に関する2つのプログラムを開催。

ひとつは誰でも安全に食べられるおせち料理作り。地域の料理好きな女性たちから教わった「あしがら雑煮」には、お米で作ったお餅を入れるなど工夫をしました。もうひとつは、身障協会のみなさんを先生にして、クッキー作りを行いました。どの先生もほめ上手。「将来パティシエになれるかも！」と笑顔になる参加者も。



子どもも大人も楽しめる寺子屋の存在が、少しずつ認知されてきました。秋には養護教諭による自閉症スペクトラムに関するボランティア講座を行い、寺子屋に関わる地域の方たちが参加してくれました。